

冬のくらしを支える除排雪

昨季の豪雪災害を教訓として〇〇〇



除排雪に関する問い合わせは
22局8400

北海道内でも屈指の豪雪地帯である岩見沢市。昨季は42年ぶりに10mを超える降雪があり、家屋や施設などに大きな被害があったほか、雪かきなどで3人が死亡、49人が重軽傷となるなど事故が相次ぎました。

また、吹雪による交通の遮断や降り続ける大雪による道路状況の悪化など市民生活に大きな影響がありました。そこで市は、豪雪対策本部を設置し、道路除排雪に全力を尽くすとともに、パトロールの強化や独居高齢者等への除雪支援などを行いました。このほか、自衛隊による道路排雪運搬や独居高齢者世帯の除雪支援、国や北海道による排雪支援、地域や企業の皆さんによるボランティア除排雪活動など、多くの方々に支援をしていただきました。今月号では、こうしたことを教訓とした市の除排雪対策と、市民の皆さんの雪に関する事故防止についてお知らせします。

平成24年度 道路除排雪予算

7億9,117万円

| | |
|-----------|----------|
| ▷車道除雪延長 | 956.2 km |
| ▷歩道除雪延長 | 135.5 km |
| ▷運搬排雪延長 | 83.6 km |
| ▷交差点カット排雪 | 245 か所 |

除排雪は基準を設けて実施

除雪車は、降雪量が10cm以上になると予測されるときに出動し、通勤や通学に支障が出ないよう、午前7時までに終了するように作業を行うほか、日中の吹雪や暖気などにより、車両の通行に支障が出る、と判断したときにも出動し、路面をならしたり上げたりします。また排雪は、積雪が1m程度あつて、今後の降雪によっては、歩行者や車両の通行に支障を及ぼすと判断したとき、バス路線をはじめとする幹線道路や、主要な通学路を対象に実施します。

安全確保のため迅速に対応

市民の皆さんの安全・安心を最優先に、地域の交通状況をパトロールなどにより的確に把握します。そして、国や北海道との連携を強化し、迅速な交通確保を図るとともに、市の直轄機動班が、緊急的な除排雪に対応します。また、市民雪堆積場(3か所)と市が使用する雪堆積場(9か所以上)のほか、大雪時にはさらに雪堆積場の確保を図り、効率的な除排雪作業を進めます。

自主排雪支援制度の活用を

市が行う排雪は、幹線道路やバス路線、通学路等を優先するため、皆さんが住んでいる地域の住宅街の道路までは行うことができません。そこで市は、自主排雪支援制度の利用を促進しています。この制度では、自主的に排雪を実施する町会自治会に、大型ロータリー車1台と除雪ドーザー1、2台、誘導員3人程度を派遣します。町会自治会では、雪を運ぶダンプトラックを確保してもらい、市が管理する最寄りの雪堆積場などに運搬してもらいます。こうしてお互いに作業を分担することで、冬をより快適にする排雪を効率良く行うことができると考えています。

本年度の重点的取り組み

- 市民の安全・安心を最優先とし、歩車道の効率的な除排雪を行う
- 除雪工区の大規模化により、除排雪の効率化を図り、交通の確保(バス路線)と安全対策に努める
- 気象情報を的確に把握し、関係機関との連携を図り、暴風雪時における迅速な交通の確保を行う

この制度も、年々利用する町会(自治会)が増え、昨年は31町会で、排雪した延長は186kmになりました。皆さんに守ってもらいたいこと。昨季は10mを超える降雪がありました。この雪を克服していくためには、市民の皆さんの協力が必要です。路上駐車や、車道や歩道への雪出しなどをすることは、道路交通法違反になるとともに、除排雪作業の妨げになったり、歩行者事故の危険

が増えたり、緊急車両やバスが通行できなくなったりしますので絶対に行わないでください。

市は、効率よく交通を確保するため、道路の両側へのかき分け除雪を行っています。皆さんの家の前に残った雪は、各自で処理してください。また、屋根に積もっている雪が、暖気などで道路に落雪し、通行が危険になっていることもあります。自分の家だけではなく、近隣の家の状況も確認し、注意してください。

雪かきでの事故を防ぐ

昨季の豪雪で、雪かきの際にたくさんの方が発生しました。そのほとんどが、家屋や車庫の屋根の雪下ろし中に転落してしまつたもので、さらにその大半は1人で作業をしていた方の事故でした。

このことから、雪かきにおける事故の多くは、2人以上で作業すれば防ぐことができるものです。事故を防ぐために、屋根に上るときは家族や近隣の方と協力して作業するようにし、命綱やヘルメットを付け、携帯電話も常備するようにしましょう。さらに、目立つ服装で作業し、万が一のときに発見されやすいようにするといった工夫も大切です。また、気温が上昇すると屋根から



作業は2人以上で

命綱をつけましょう

の落雪が多くなるので、暖かい日の屋根の雪下ろしや軒下での作業は、できるだけ控えてください。

市は、昨季の豪雪の経験をいかし、想定外の大雪にも迅速に対応できるように、関係機関との連携を強化するなど、除排雪の体制を整えています。また、雪に関する情報を市ホームページや市公式ツイッター、状況に応じてFM放送や有線放送など、複数の情報発信手段を活用し、適切な情報発信を行います。

市民の皆さんが安全で安心して冬期間を過ごすことができるよう、雪対策に取り組んでいきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。冬期間の雪に関する市の取り組みは、12月号広報でもお知らせします。